

# 訓練記録簿

航海科用

航海訓練所

学校	氏名
----	----

2012年10月版

## 序

1995年改正STCW条約は、航海士、機関士としての海技資格を証明する要件として、「承認された教育訓練計画に基づいた実務的な船上訓練を、海技資格を有する航海士、機関士の指導の下で実施すること」を求め、「船舶職員及び小型船舶操縦者法」でも訓練実施を記録するための訓練記録簿の使用を義務づけている。

訓練記録簿は、船上訓練により訓練目標に沿って能力が達成されたことを『証明する記録』となる。訓練記録簿を完成させることは、実習生が条約で要求される能力の訓練を修了したことの証明、すなわち、乗船履歴を含んだ海技試験受験の条件を満足する証明となり、海技試験に合格することにより、海技資格が取得できる。

この訓練記録簿は、航海訓練所練習船において訓練に使用することを目的として、編集した。

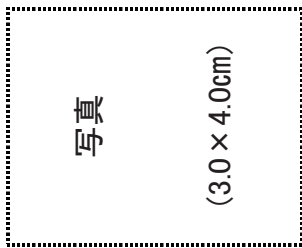
## 目次

1. 乗船履歴	
2. 評価者名簿	.....
3. 習熟訓練	1～14
4. 操練記録	
5. 能力評価	
5.1 運用レベル	..... 15～19
5.2 管理レベル	..... 20～23
6. 要目表	..... 24

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年入学



乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----

## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

	実施年月日		
総員退船			
防火			
救助艇			
非常操舵			
防水			
流出油防除			

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_ 年入学

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----

## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

	実施年月日			
総員退船				
防火				
救助艇				
非常操舵				
防水				
流出油防除				

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_ 年入学

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----



## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

項目	実施年月日		
総員退船			
防火			
救助艇			
非常操舵			
防水			
流出油防除			

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_ 年入学

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----

## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求めめる前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

	実施年月日		
総員退船			
防火			
救助艇			
非常操舵			
防水			
流出油防除			

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_ 年入学 \_\_\_\_\_

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----  
 -----

## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

	実施年月日			
総員退船				
防火				
救助艇				
非常操舵				
防水				
流出油防除				

1. 乗船履歴

氏名 \_\_\_\_\_  
 生年月日 \_\_\_\_\_  
 本籍地 \_\_\_\_\_  
 学校 \_\_\_\_\_ 年入学

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----

## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎、煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

	実施年月日		
総員退船			
防火			
救助艇			
非常操舵			
防水			
流出油防除			

1. 乗船履歴

氏名

\_\_\_\_\_

生年月日

\_\_\_\_\_

本籍地

\_\_\_\_\_

学校

\_\_\_\_\_

年入学

乗船訓練経歴

船名	乗船		下船		乗船期間	船長印	機関長印
	年月日	場所	年月日	場所			
					月 日		
通算乗船期間							
					年 月 日		

2. 評価者名簿

職名	氏名	職名	氏名	船長印
				左記の者を評価者とする

<備考>

-----

-----



## 3. 習熟訓練

項目	実施年月日
安全に関する基本事項を理解し、非常時の初期動作ができる。	
<b>習熟訓練内容</b>	実施チェック欄
暴露甲板までの待避経路の確認	<input type="checkbox"/>
非常時の身支度	
① 総員退船部署	<input type="checkbox"/>
② 防火部署	<input type="checkbox"/>
非常配置計画及び非常時における自己の配置の確認	
① 総員退船部署配置	<input type="checkbox"/>
② 防火部署配置	<input type="checkbox"/>
非常時に行うべき初期動作の理解	
① 落水者発見時の救命浮環の使用法	<input type="checkbox"/>
② 火災(炎, 煙)の発見時	<input type="checkbox"/>
・消火器の使用法	<input type="checkbox"/>
・火災報知器の使用法	<input type="checkbox"/>
非常警報の種類及び安全に関する標識の理解	<input type="checkbox"/>
防火扉・防水扉の開閉方法	<input type="checkbox"/>
医療支援を求める前の応急処置	<input type="checkbox"/>

## 4. 操練記録

実施年月日	実施年月日		
総員退船			
防火			
救助艇			
非常操舵			
防水			
流出油防除			

5 運用レベル (The operational level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
1	航海の計画・航行及び船位の決定 Plan and conduct a passage and determine position	1.1 船位を測定するための天体観測方法							
		1.2 水路図誌に関する知識及び利用する能力							
		1.3 船位測定に関する知識と技能							
		1.4 操舵制御装置の取扱方法、最適な制御調整方法							
		1.5 気象測器から得られる情報の利用及び解釈に関する知識							
		1.6 気象システムの特徴、通報手順及び記録方式に関する知識							
2	安全な航海当直の維持 Maintain a safe navigational watch	2.1 航海当直業務内容の理解及び実務							
		2.2 停泊当直業務内容の理解及び実務							
		2.3 安全な航海当直を維持するための航海計器の使用と情報の利用							
		2.4 狭視界航行技術についての知識							

## 5 運用レベル (The operational level)

No	能力 Competence		知識・理解及び技能	実 施 年 月 日						評 価 評価者名 年月日
2	安全な航海当直の維持 Maintain a safe navigational watch	2.5	船舶通報制度の一般原則及びVTS通報に関する知識							
			2.6	ブリッジリソースマネージメントの原則に関する知識						
3	安全な航海維持のためのレーダ及びARPAの使用 Use of radar and ARPA to maintain safety of navigation	3.1	レーダ・ARPAに関する基礎知識							
		3.2	レーダ・ARPAの操作法、情報分析能力							
4	安全な航海維持のためのECDISの使用 Use of ECDIS to maintain the safety of navigation	4.1	ECDIS操作の能力と限界についての知識							
		4.2	ECDISから得られる情報の解釈及び分析の技能							
5	非常時の対応 Respond to emergencies	5.1	非常事態における船体、人命の保護及び安全に関する注意事項							
		5.2	衝突及び乗揚げ後にとるべき初期動作、損傷の判断及び損傷制御							
		5.3	遭難者の救助、遭難船への支援及び港内で発生した非常時に対する手順							
6	海上における遭難信号への対応 Respond to a distress signal at sea	6.1	国際航空海上捜索救難マニュアルの内容に関する知識							
		6.2	GMDSS							

5 運用レベル (The operational level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
7	IMO標準海事通信用語集の使用及び筆記及び口述による英語の使用 Use the IMO Standard Marine Communication Phrases and use English in written and oral form	水路図誌、気象情報並びに船舶の安全及び通航に関する情報を理解する能力							
		IMO標準海事連絡用語集を用いて海岸局及びVTSセンターと通信する能力							
8	視覚信号による情報の送信と受信 Transmit and receive information by visual signalling	国際信号書に定める遭難信号及び視覚信号の一字信号を送受信する能力							
9	操船 Manoeuvre the ship	操縦性及び操船法に関する知識							
10	貨物の積込み、積付け、固定、輸送中の状態及び荷揚げの監視 Monitor the loading, stowage, securing, care during the voyage and the unloading of cargoes	耐航性及び復原性に関する貨物の影響に関する知識							
		貨物の安全な取扱い、積付け及び固定並びに人命と船舶の安全に対する貨物の影響に関する知識							
11	貨物艙、ハッチカバー、バラスタタンの検査並びに欠陥及び損傷報告 Inspect and report defects and damage to cargo spaces, hatch covers and ballast tanks	積み卸し作業、腐食、荒天の場合の損傷及び欠陥の状態を説明する知識及び能力							
		船舶検査を実施するための能力							
		貨物室、バラスタタンク内の腐食の原因、腐食の確認及び防止法							
		検査の手順に関する知識							
		保存手入							

## 5 運用レベル (The operational level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
12	汚染防止要件の遵守の確保 Ensure compliance with pollution prevention requirements	12.1	海洋環境汚染防止処置に関する知識と措置の重要性について						
13	船舶の耐航性の維持 Maintain seaworthiness of the ship	13.1	船舶の復原性に関する知識						
		13.2	船舶の主要構造部材に関する知識						
14	船内における防火、火災制御及び消火 Prevent, control and fight fires on board	14.1	防火操練を計画する能力と消火活動及び消火に関する技能						
15	救命設備の運用 Operate life-saving appliances	15.1	退船操練を計画する能力と救命艇、救命いかだ及び救助艇に関する知識と技能						
16	船内における応急手当 Apply medical first aid on board ship	16.1	応急医療における知識と技能						
17	法的要件を遵守するための監視 Monitor compliance with legislative requirements	17.1	海上における人命の安全及び海洋環境の保護に関するIMO関連条約の知識						
18	リーダーシップとチームワーク技能の適用 Application of leadership and teamworking skills	18.1	船内要員の管理に関する知識						
		18.2	効果的なリソースマネージメントと意志決定技能						
		18.3	職務及び業務分担の管理ができる能力						

: 登録海技免許講習の必要履修科目の講習内容に準ずる。

### 5 運用レベル (The operational level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日					評価 評価者名 年月日
19	人員及び船舶の安全に貢献すること Contribute to the safety of personnel and ship	19.1 個々の生存技術に関する知識						
		19.2 防火に関する知識と消火活動及び消火に関する知識						
		19.3 初歩的な救急処置に関する知識						
		19.4 個々の安全と社会的責任に関する知識						

：登録海技免許講習の必要履修科目の講習内容に準ずる。

## 5 管理レベル (The Management Level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
1	航海計画及び航海の指揮 Plan a voyage and conduct navigation	1.1	あらゆる状況を考慮した航海計画と安全航海の指揮						
		1.2	航路選定に関する知識						
2	船位の決定及び各手段によって得られた決定船位の精度 Determine position and the accuracy of resultant position fix by any means	2.1	天体観測による船位測定						
		2.2	地物の観測による船位測定						
		2.3	衛星航法装置による船位測定						
3	コンパス誤差の決定と考慮 Determine and allow for compass errors	3.1	磁気コンパス・ジャイロコンパスに関する知識及び誤差を検出する能力						
		3.2	ジャイロコンパスの主な種類の取扱いと運用に関する知識						
4	捜索と救助作業の調整 Coordinate search and rescue operations	4.1	国際航空海上捜索救難マニュアルの知識と手順						
5	当直体制及び手順の確立 Establish watchkeeping arrangements and procedures	5.1	海上衝突予防規則の内容、適用及び目的に関する十分な知識						
		5.2	「航海当直の維持に当たり遵守すべき基本原則」の内容、適用及び目的に関する十分な知識						

5 管理レベル (The Management Level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
6	意志決定支援のための航海計器及びシステムから得られた情報の使用を通じての安全な航海の維持 Maintain safe navigation through the use of information from navigation equipment and systems to assist command decision making	6.1 衝突防止及び安全航海のためのレーダー・ARPAを含むすべての航海計器から得られた航海情報の最適な利用							
7	ECDIS及び意志決定支援のための関連航海システムの使用を通じての安全な航海の維持 Maintain the safety of navigation through the use of ECDIS and associated navigation systems to assist command decision making	7.1 ECDIS使用に関する操作手順、システム・ファイル及びデータの管理							
		7.2 航路の見直し、航路計画及びシステム機能の見直しのための再生機能の使用							
8	気象・海象の予測 Forecast weather and oceanographic conditions	8.1 天気図を理解し及び解読する能力、局地的な気象状態及び気象ファックス図からの情報を考慮して、地域の天気を予測する能力							
		8.2 種々の気象状態の特徴に関する知識(熱帯暴風雨及び暴風雨の中心及び危険半円の回避に関するものを含む)							
		8.3 海流システムに関する知識							
		8.4 潮汐に関するすべての適切な航海用書誌を使用し潮汐の状態を算出する能力							
9	航海に関する緊急時の対応 Respond to navigational emergencies	9.1 航海に関する緊急時の対応							



## 5 管理レベル (The Management Level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
10	あらゆる状態における操船 Manoeuvre and handle a ship in all conditions	10.1	あらゆる状態における操船法						
11	推進機関及び機関システムと運用の遠隔制御の操作 Operate remote controls of propulsion plant and engineering systems and services	11.1	船舶の出力装置と船用補機に関する知識及び機関室当直の概要の理解						
12	トリム、復原性及び応力の管理 Control trim, stability and stress	12.1	区画室に損傷が生じ浸水があった場合に浸水が船舶のトリム及び復原性に及ぼす影響並びに当該影響の生じた場合にとるべき措置に関する知識						
13	海上における人命の安全確保と海洋環境の保護のための法的要件と手段に応じた監視と管理 Monitor and control compliance with legislative requirements and measures to ensure safety of life at sea and the protection of the marine environment	13.1	国際協定及び条約で定められている国際海事事法に関する知識						
14	船舶、乗組員及び旅客の安全と保安の維持及び救命、消火及び他の安全システムの作動状態の維持 Maintain safety and security of the ship's crew and passengers and the operational condition of life-saving, fire-fighting, and other safety systems	14.1	船舶、乗組員及び旅客の安全と保安の維持及び救命、消火及び他の安全システムの作動状態の維持に関する知識						
15	非常時及び損傷制御計画の立案及び非常事態への対応 Develop emergency and damage control plans and handle emergency situations	15.1	船体構造に関する基本原理、トリム及び復原性に関する理論及び要因並びにトリム及び復元性を保つために必要な措置に関する理解						
		15.2	非常事態時における適切な機器の使用						

5 管理レベル (The Management Level)

No	能力 Competence	知識・理解及び技能	実施年月日						評価 評価者名 年月日
16	リーダーシップと管理技能の適用 Use of leadership and managerial skill	16.1	船内要員の訓練に関する知識						
		16.2	効果的なリソースマネジメントと意思決定能力(リスクアセスメントを含む)						
		16.3	職務及び業務分担の管理ができる能力						
		16.4	標準作業手順の策定、実行及び監督する能力						
17	船内医療に関する規定の組織と管理 Organize and manage the provision of medical care on board	17.1	船内医療に関する出版物の利用及び内容に関する十分な知識						

：登録海技免許講習の必要履修科目の講習内容に準ずる。

## 6. 要目表

要目/船名	日本丸	海王丸	大成丸	銀河丸	青雲丸
航行区域	遠洋船	遠洋船	遠洋船	遠洋船	遠洋船
船種	住友重機械工業 浦賀造船所	住友重機械工業 浦賀造船所	日本鋼管 鶴見工場	三井造船 千葉造船工場	住友重機械工業 横須賀造船所
建造場所					
船番	1115	1155	981	1570	1220
起工年月日	(1983) S58. 4.11	(1988) S63. 7. 8	(1980) S55. 4.17	(2002) H14.11. 6	(1996) H 8. 3. 6
進水年月日	(1984) S59. 2.15	(1989) H 1. 3. 7	(1980) S55.10. 3	(2003) H15.12.12	(1997) H 9. 3. 4
竣工年月日	(1984) S59. 9.12	(1989) H 1. 9.12	(1981) S56. 3.16	(2004) H16. 6.15	(1997) H 9. 9.25
信号符号	JFMC	JMMU	JLPY	JFFP	JLLY
船舶番号	128115	131166	123723	137183	135874
I M O 番号	8211502	8801010	7924920	9271274	9177600
総トン数	2,570	2,556	5,886.73	6,185	5,890
国際総トン数	2,891	2,879	5,852	6,185	5,890
純トン数	867	863	1,755	1,855	1,767
載貨重量トン数	1,456.20	1,425.40	3,260.30	2,830	2,673.00
満載排水トン数	4,729.90	4,654.70	6,914.00	6,720	6,325.42
満載喫水 (m)	6-57	6-584	5-80	6-42	6-30
全長 (m)	110.09	124.84	124.84	116.40	115.997
登録長 (m)	92.38	92.31	117.29	116	108.21
垂線間長 (m)	86	86	115	105	105
条約長 SOLAS/ITC (m)	86.55/ 86.55	86.55/ 86.55	116.23/116.23	105.15/	105.17/106.82
型深 (m) 船楼甲板/上甲板	10.72/ 8.20	10.71/ 8.20	- /10.50	10.50/ 8.00	10.80/ 8.30
満載喫水 (m)	6.57	6.584	5.8	6.1	6.3
幅 (フィン張出時) (m)	13.8	13.8	17	18	17.90(23.008)
海面上マスト高(軽荷喫水) (m)	51.83	51.84	33.58		31.58
装数	2,163.90	2,165.90	3,412	3,385	3,341
主機関	ダイハツ6DSMB-28NS	ヤマザZ280-ST	川崎HA-70	三菱 7UEC 43 LS II	mitsubishi /MAN B&W 6L50MC
(メーカー型式/原動機種/基)	ディーゼル/2基	ディーゼル/2基	蒸気タービン/1基	ディーゼル/1基	ディーゼル/1基
プロペラ	4翼FPP x 2	4翼CPP x 2	5翼FPP x 1	4翼CPP x 1	4翼CPP x 1
定格出力 (PS)/ (kW)	1,500 x 2 / 2,206	1,500 x 2 / 2,206	7,000 / 5,148	8,980 / 6,600	10,500 / 7,722
速度 最大/航海 (k't)	14.33/ 13.2	14.09/ 12.95	19.22/ 17.9	20.5/ 18.65	20.4/ 19.5
スラスト (PS)	*	*	510 x 1	815 x 1	761 x 1
ボイラ (形式: MPa x kg/h)	縦形煙管 : 0.88 x 2000	縦形煙管 : 0.88 x 2000	川崎UMG14/17 船用2胴水管 x 2 : 5.00 x 14000 x 2	縦形煙管 : 0.69 x 3000	縦形円筒水管 : 0.59 x 3000
発電機 (出力/基/原動機種)	400kw/3基/ ディーゼル	400kw/3基/ ディーゼル	900kw/2基/蒸気タービン 560kw/1基/ディーゼル	900kw/3基/ディーゼル 150kw/1基/ディーゼル	800kw/3基/ディーゼル 120kw/1基/ディーゼル
100%燃料搭載量 (kl)	A 301.8 C 201.1 計 502.9	A 307.1 C 204.8 計 511.9	A 610 C 1,905.0 計 1,966.0	A 517.49 C 1,181.02 計 1,698.51	A 241.17 C 1,399.90 計 1,641.07
最大搭載人員 (実習生定員)	190(120)	199(128)	214(140)	246(180)	252(180)
Bow to Bridge (m)	40	38.5	34	27.9	30
航続距離 (mile)	9,800	9,800	12,600	11,000	15,000